



2022年5月16日

各位

会社名 INCLUSIVE 株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤田 誠
(コード番号：7078 グロース市場)
問合せ先 執行役員 CFO 本間 紀章
(TEL 03-6427-2020)

2022年3月期 通期業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2022年2月14日に公表しました2022年3月期の通期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じました。また、2022年3月期において特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,690	△54	△48	△73	△9.38
実績値 (B)	1,730	△51	△39	△122	△15.52
増減額 (B-A)	40	3	8	△48	
増減率 (%)	2.4	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	1,376	31	42	22	3.12

(参考) 調整後 EBITDA (営業利益+減価償却費及びのれん償却費+株式報酬費用+寄付金)

実績値 2022年3月期 62百万円

前回発表予想 2022年3月期 65百万円

(増減額 △3百万円、増減率 △5.1%)

2. 差異の理由

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、メディアマネジメントサービスにおけるクライアント獲得が順調に推移したこと、また、プロモーション企画・PRサービスにおいて新規クライアントの獲得が想定より進捗したことやコスト構造の効率化により、予想値を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失を計上したことなどから予想値を下回る結果となりました。

3. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である株式会社morondoの株式取得時に発生したのれん、ならびに当社が所有するウェブサービス『SuMiKa』を譲り受けた際に発生したのれんについて、当初策定の計画を下回っていることを勘案して、今後の事業計画を見直し、回収可能性額を慎重に検討した結果、減損損失として39百万円を計上することとなりました。また、当社の出資先の投資有価証券について、投資時における事業計画と実績値が乖離しており、超過収益力が減少したと判断されたため、減損処理による投資有価証券評価損として18百万円を計上いたしました。

以 上